

## この木何の木？

### 未来を担う子供たちに森林教室

五月二五日、白谷雲水峽をフィールドに上屋久町内の小学五年生を対象に「ふるさと森林教室」を開きました。

この森林教室は、上屋久町教育委員会の依頼により毎年開催しているもので、町内の四校から児童四八名、引率者十五名、保全センター職員・森林官八名の総勢七一名が参加して実施しました。

当日は、白谷広場で小瀬田森林事務所の米丸森林官が、「森林教室へ森林と友だちになろう」を教材に地球と森林、資源としての木材、魚をつくる森のちから、森のいろいろ、人工林と森の手入れ、国有林の役割くらしを支える木材等について分かりやすく説明しました。

このあと、六班に分かれて樹木・草花の名前、屋久杉の世代交替、土埋木の利用、雨水と地下水と河川と水道水に至る森の役割等について、約四時間にわたって、原生林歩



道・楠川歩道を散策しながら勉強しました。

散策後の質問コーナーでは①この森の中で一番大きい木と小さい木はなんですか、②屋久島には、何種類の植物がありますか、③屋久島にしかない植物は何種類ですか、④白谷雲水峽には、ヒメシヤラが何本ありますか、等の質問が、答えるのに苦労した質問や、答えるのに苦労した。子供たちの興味の深さが伺えました。

最後に、教育委員会と保全センターからの参加賞を手に入れた子供たちを表彰しました。

## 自然休養林総会を開催

平成八年度屋久島自然休養林荒川地区保護管理協議会総会とヤクスギランドを美しくする会総会が、五月二七日屋久町総合センターで開催され原案どおり決定しました。

同日は、「荒川地区保護管理協議会」を先に開催し、平成七年度事業経過では、ランド内の苔の橋の補修作業、美化・清掃活動、広報・宣伝活

## 屋久島の植物



ハマクサギ

(クマツヅラ科)

海岸または海の近くにはえ落葉する小形の高木。高さ二〇〇位、幹は多数枝分かれする。葉は対生し、長さ一・三センチの柄があり、卵形または広卵形で五〜一二センチ、幅は二・五〜七センチ、膜質で先端はとがり、基部は急に細くなり柄に沿ってひれとなり、全円または上平部に荒い大型の鋸

歯があり悪臭がある。屋久島では五月頃枝先に円錐状の集散花序をだし、淡黄色の花を多数つける。がくは鐘形で五歯があり花冠は筒状で先端は四裂し、唇形となり長さ八〜一〇ミリ、果実は倒卵状球形で紫黒色に熟し、三〜三・五ミリになる、材は、灰白色で浅く縦裂する。

## 雨量計設置黒味岳を最後に完了！

保全センター業務の一つである雨量計設置を島内の七箇所に予定していましたが、このほど黒味岳頂上付近の設置を最後に全予定箇所の設置が完了しました。

最後の設置箇所になった黒味岳は、五月三十一日、保全センター職員四名に小瀬田森林官、春牧森林官の協力を得て計六名で実行しました。当日は、雨量計の機材（総

重量約八〇kg）を六人で手分一データーを回収し雨の多い屋久島での森林氣象を観測することにより、貴重な森林の保全と山腹崩壊、土砂流出等の山地災害防止に役立てていくことにしています。



なお、保全センターでの雨量計設置箇所は、次のとおりです。

- ①保全センター敷地内 (標高 二〇〇)
- ②白谷雲水峽入口 (標高 六三〇)
- ③宮之浦林道三三三線 (標高 六四〇)
- ④小杉谷事業所跡 (標高 六八〇)
- ⑤大川林道一二支線 (標高 一一〇〇)
- ⑥淀川登山口 (標高 一三八〇)
- ⑦黒味岳頂上付近 (標高 一八〇〇)



え工事の積極的協力についての提案がなされました。ひきつづき開かれた、「ヤクスギランドを美しくする会総会」では、平成七年度事業報告及び収支決算、平成八年度収支予算案について協議され、この中で、平成七年度の協力金拠出者数は六万九千人、非拠出者、一三六人、協力金総額は二千七〇万円と報告されました。